

2019
秋号
No.80

ほなみ

穂 潤

For WASEDA University Old Boys & Girls

発行所
早稲田大学藤沢稻門会

発行人 内田 進
穂 潤 編集委員会



新しい会場風景

第19回 作品展

8月27日（金）から9月1日（日）、会員・会員家族52名が絵画・写真・書道・陶芸・工芸・文芸などの作品85点を出展して『作品展』が開催されました。

今回、会場の市民ギャラリーが「ルミネ藤沢店」から、百貨店・専門店・図書館が入居する「ODAKYU湘南GATE」に移転しました。これが人の流れを変え、来場者は出展者の友人知人のほか買物客や図書館通いの方にも広がり、総来場者数は今迄の約1千百名から推定2千数百名と、2倍以上に増えました。会場では、個性溢れる

力作を熱心に鑑賞していただき、お陰様で連日大盛会でした。

さらに8月29日の夜、出展者の半数が参加して、恒例の『出展者交流会』が開催されました。

会場のスクリーンに投影された作品の写真（中畠達雄さん撮影）の前で出展者が自分の作品の狙いや苦労した点などを披露し、参加者は各作品に対する理解とお互いの交遊を深めることができました。

なかでも『即位礼正殿の儀（和元年）』の大作を出展された小川祥子さんの『高御座・御帳台の骨組み以外は全て手作りしました。宮内庁に勤める知人から10年前に頂いた皇室菊御紋入りの生地が天皇陛下の装束に生かせました。』という話は大変印象深く、皆さん聞き入りました。

今回、寺本沙香江さん・中野筆子さん、中山謙一郎さんが初めて出展されました。次は20回目の節目の会に当ります。初出



小川祥子さんの作品は市長室に展示



出展者勢ぞろい

新たな会場で開催

II 来場者は2倍以上に増加 II

【出展者（敬称略）】

淺野康雄・穴水克俊・栗野和実
石井正躬・石井雅子・稻葉紘
稻村嘉彦・右近徳雄・右近和子
内田邦治・大久保綾子・小川貴子
小川洋・小川祥子・奥野嘉一
小倉真理子・貝瀬勇・貝瀬和子
上岡亨・川田厚子・佐藤壽一
佐藤順子・塩瀬喜久・隅野克子
鷹幸子・高橋志保彌・高橋路子

田中比佐子・津上康平・寺本沙香江
外岡豊・外山健太郎・永澤征治
中山謙一郎・野村幸男・畠山正樹
中野正一・中野筆子・中畠達雄
羽尾公也・林秀昭・藤田洋一
三浦信道・三浦雅子・宮原青子
村岡猛・元美幸・柳下紀久次
八幡三郎・和田千賀子・渡辺明
藤稻言葉遊びの会

多くの皆様のご出展をお待ち申し上げております。

野村幸男
(昭和49・商学)

穗

濤

新入会員交流会

バラエティに富んだ交流会

ない早稲田の友に感謝し、新人会員の皆様、ご参加いただき誠にありがとうございました。

神藤利路（昭和51・商学）

新入会員交流会が令和元年6月15日（土）、居酒屋「さかなや」で開催されました。

卒業年昭和38年から平成11年まで、学部もそれぞれで実際にバラエティに富んだ新入会員の皆様が、学生時代の思い出話は勿論のこと、これまでの幅広い分野の知見に基づく懐かしい会話の花を咲かせていました。

卒業年昭和38年から平成11年まで、学部もそれぞれで実際にバラエティに富んだ新入会員の皆様が、学生時代の思い出話は勿論のこと、これまでの幅広い分野の知見に基づく懐かしい会話の花を咲かせていました。

稻門会に期待する事や、今後活動したい同好会等の情報収集にも精力的に動いていらっしゃいました。幹事の私としては卒業年度や学部が違つても、共通の話題・様々な議論で盛り上がり「早稲田」は永遠なる青春の苑と感じた次第です。皆様の熱量は悪天候も凌駕し、正に「人生劇場」先輩・後輩分け隔てなく、「集まり散じて人は変われど、仰ぐは同じき理想の光」の再現でした。新たな繋がりが確実に広がり続けることを実感した素敵な会となりました。

結びの言葉として、かけがえの

第3回 藤稻落語会

「落語の笑いは生活の良薬」

7月14日（日）藤沢駅北口

徒歩3分の「魚とカレーのお店」2階の舞台にて、柳亭こみち師匠を迎えて落語会が開催された。

彼女は早稲田大学卒業後柳亭燕路に入門し、平成29年11月に真打に昇進したばかり。気鋭の女性落語家だ。

ネタは「茗荷宿」「天狗裁き」「船徳」の三席。いずれも寄席で多く演じられる古典。身近な話題の蘊蓄で座を温め、奇想天外にテンポよく女性落語家独自の工夫をこらし熱演。

落語は座布団・扇子・手拭の安上がりな話芸。しかし、客の想像力を当てにしているから深みは無限大。

落語の薬箱には、自分で創れる健康維持の処方箋が詰まっている。



柳亭こみち師匠を囲んで！



早稲田の友が元気に参集した！

落語で大いに笑い長生きしよう。
（中野正一 記）

落語は演目内容だけでなく、演じる「落語家」への興味を起こさせる。会の終了後近くの居酒屋にて懇親会を開催。彼女はここで真打昇進後の経験・苦労・抱負などを同窓の集まりの気楽さからか、杯を重ね多弁になつた。プロの話は面白い。めつたに貴重な時間であった。

今回は、懇親会という事だったので、挨拶等は簡略化し暑氣払いと懇親をメインとしました。多くの参加者が満足され、来年も同時期、同場所で「納涼会」を実施する事も内定しました。詳細は近々

納涼会

湘南の夕日を堪能！

湘南・藤沢の夜景を見ながらの「納涼会」が藤沢稻門会幹事会と「四季の会」

ご連絡致しますので、来年も楽し

い一時を過ごしたいと心に刻み、報告とさせて頂きます。

中野美昭（昭和51・教育）

後5時からF・プレイス（旧労働会館）6階レストラン3+3 CAFEで開会されました。

当日は県稻門会支部長鴻谷様もご参加され、総勢32名（女性9名）

で、江の島・伊豆大島、遠くに富士山が望める絶好のオープンテラスとレストランで冷たいビールと料理で夏の一夜を過ごしました。

今回は、懇親会という事だったので、挨拶等は簡略化し暑氣払いと懇親をメインとしました。多くの参加者が満足され、来年も同時期、同場所で「納涼会」を実施する事も内定しました。詳細は近々



湘南の景色を背景に！

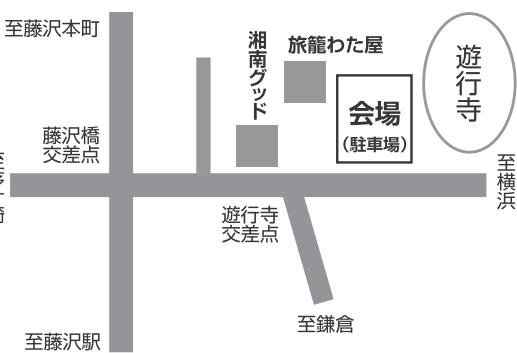
穂 潤

箱根駅伝

駅伝応援会場が変わります！

永年ご協力をいたいたい神中興業さん（感謝！）に変わり、東地区の応援会場は次のようになります。「藤沢橋を遊行寺方向に進み、最初の信号の左側駐車場」（地図参照）

せん。出場権を獲得できるよう皆さんが応援しよう。
詳しくは、12月にお届けする箱根駅伝応援チラシでお知らせいたします。



現在鶴沼川柳同好会員及び横浜の「路吟社」同人です。私の柳歴はわずか五年。川柳の師は故大木俊秀先生、NHK川柳講座を創設された大御所です。因みに先生は早稲田大学出身の元アナウンサーでした。

先生は「川柳は文芸である」との観点から指導されました。川柳は俳句のように花鳥風月を詠むのではなく、人間を詠みます。人の心・人の喜怒哀楽・人間模様などを五七五の文字で表現します。句は外部に発表されると、読み手に委ねられ一人歩きします。

川柳を味わい楽しんでいただければ幸甚に存じます。

市川嘉紀（昭和34・法学）
川柳（自由句）

産つぶち押さないでくれ妻子いる
罪の子を母は黙つて抱きしめる
あの人言葉を信じ目を信じ
わだかまり消え軽やかにワルツ舞う
洗面の鏡に好きと紅の文字
おしどりがそつと家裁の門くぐる
妻無言今日はまびしい日になるぞ
外出の化粧落として妻になる
不渝になつた茶碗で差し向かい
編む妻の老いを包んで薄明かり

穂 潤 川柳

事務局長交代ならびに事務局の変更

令和元年10月1日付にて事務局長が交代し、事務局も次の通り変更となります。

【新事務局長】 犀 倉 康 博 (シシクラ ヤスヒロ)

行事予定

■第19回 県支部大会

日時・11月2日（土）

会場・レンブラントホテル厚木

主管・厚木稲門会

■忘年会

日時・12月8日（日）

会場・藤沢市民会館

■箱根駅伝応援

日時・1月2日／3日

会場・東西2会場

※東会場のみ会場変更

■定期総会・新春のつどい

日時・2月9日（日）

会場・藤沢市民会館

編集委員長
編集委員

外岡 健
高野尚志・中野正一
山口金雄・山下扶佐子